

現況調査結果

1. 低未利用地調査：H24.9 実施

2. 空き店舗調査：H24.9 実施

3. 一時貸駐車場：H24.9 実施

4. 通行量調査：H24.8.29（水）実施
（資料は、別冊基本計画P24～25に記載）

5. 来街者アンケート調査：H24.9.8（土）実施
（資料は、別冊基本計画P42～47に記載）

1. 低未利用地の調査結果（平成24年9月現在）

■全体（草津市まちなか再生課の調査）

- 低未利用地は、空き地などの未利用地及び平面駐車場などの低利用地そして資材置き場などのその他に分けて整理した。
- 中心市街地の区域には、低未利用地（合計371箇所）が広がっており、特に平面駐車場の低利用地が広く点在している。
- アニマート跡地、西友跡地、野村市営住宅跡地、野村運動公園駐車場の広大な未利用地がある。
- 中心市街地の区域を、草津エリア、大路・渋川エリア、駅西エリアの3つに分けて調査結果を記述する。

（1）草津エリア

- 草津エリア全体には、平面の月極駐車場（計122箇所）が広く点在している。
- 市役所周辺には、まとまった平面の月極駐車場が広がっている。
- JR線路沿いには、まとまった未利用地がある。

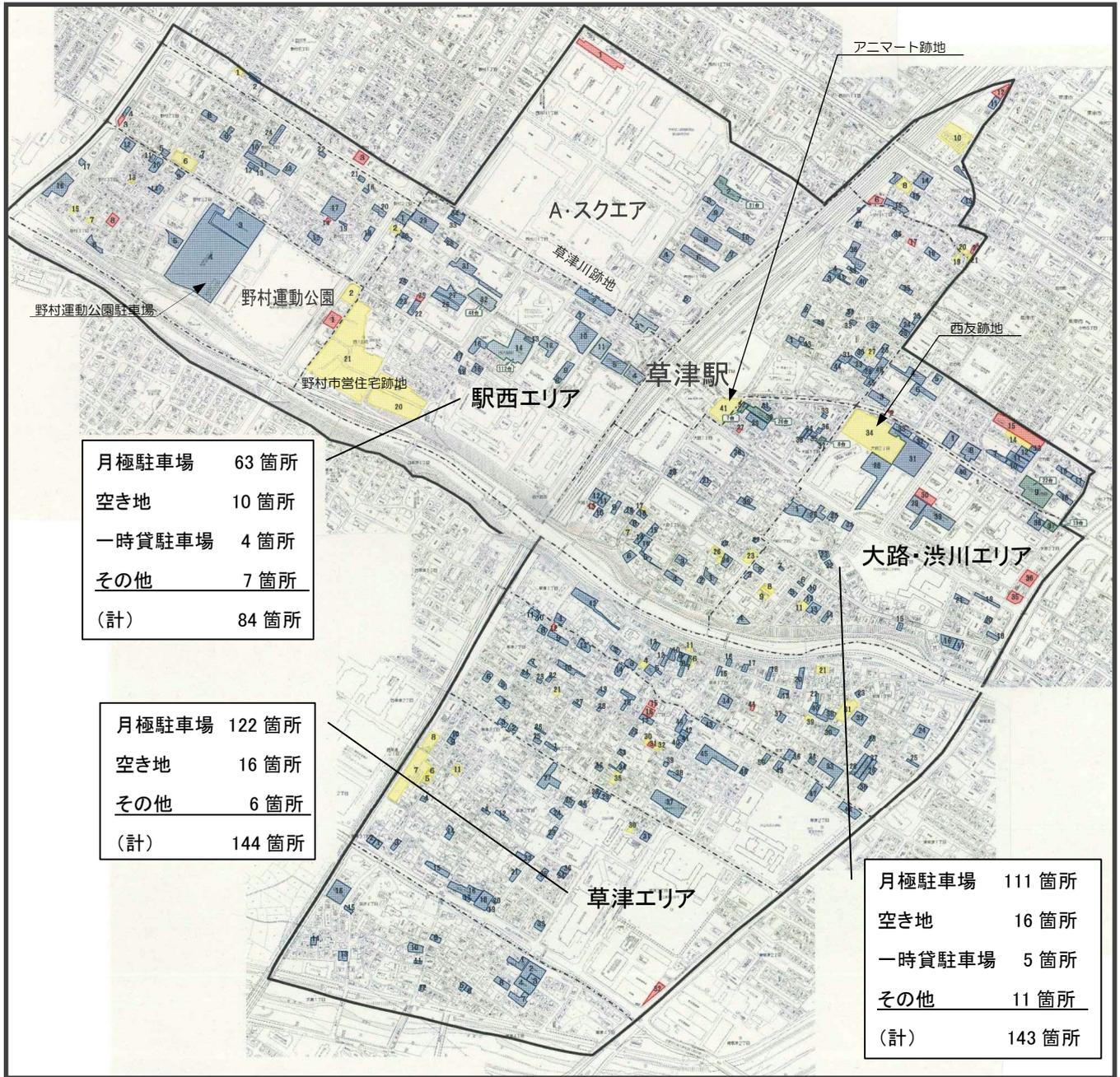
（2）大路・渋川エリア

- 大路・渋川エリア全体には、平面の月極駐車場（計111箇所）が広く点在している。
- アニマート跡地と西友跡地の広大な未利用地がある。
- 駅東口前を中心としてその周辺には、一時貸駐車場が点在している。

（3）駅西エリア

- 駅西エリア全体には、平面の月極駐車場（計63箇所）が広く点在している。
- 野村市営住宅跡地と野村運動公園駐車場の広大な低未利用地がある。
- 駅西口前を中心としてその周辺には、一時貸駐車場が点在している。

■低未利用地調査の結果図



凡例

■	空き地等
■	月極駐車場
■	一時貸駐車場
■	その他

2. 一時貸駐車場の調査結果（平成 24 年 9 月現在）

■全体（草津市まちなか再生課の調査）

- 基本的に一時貸駐車場は草津駅の東口と西口を中心としてその周辺に合計約 23 箇所で合計約 4800 台が点在している。
- 駅東口周辺には計 13 箇所で計約 1200 台、及び駅西口周辺には計 10 箇所で合計約 3600 台（A・スクエア約 3000 台含む）がある。
- 草津駅の東口と西口の周辺に分けて調査結果を記述する。

（1）駅東口周辺

- 駅東口周辺には、大型店舗に併設された大規模な一時貸駐車場（近鉄百貨店約 600 台、エルティ 226 台など）と地下駐車場（151 台）が集積している。
- その他には、数台から数十台までの中小規模な一時貸駐車場が点在している。

（2）駅西口周辺

- 駅西口周辺には、大型複合店舗に併設された大規模な一時貸駐車場（A・スクエア約 3000 台）と地下駐車場（77 台）が集積している。
- 駅西口周辺には、ホテルや商業施設などに併設された中規模な一時貸駐車場（ポストプラザホテルとケントプラザ約 200 台、エストピアホテル約 160 台）が集まっている。
- その他には、数十台の中規模な一時貸駐車場が点在している。

■一時貸駐車場の調査結果図



■ 一時貸駐車場

3. 空き店舗の調査結果（平成 24 年 9 月現在）

■全体（草津市まちなか再生課の空き店舗調査）

- 中心市街地全体においては、空き店舗が概ね草津駅東側に点在している。
- 全体の店舗数は 811 軒、そのうち営業店舗数は 746 軒、空き店舗数は 65 軒、空き店舗率は約 8%である。（なお、調査店舗数については、テナントビル等で区画割数の変更等により、店舗数が変わるため、あくまで参考値とする。）
- 中心市街地の区域を、草津エリア、大路・渋川エリア、駅西エリアの 3 つに分けて調査結果を記述する。

（1）草津エリア

- 草津エリアにおいて、旧東海道沿いを中心として特に空き店舗数の増加が顕著である。
- 草津エリア全体の店舗数は 145 軒、そのうち営業店舗数は 119 軒、空き店舗数は 26 軒、空き店舗率は約 18%である。

（2）大路・渋川エリア

- 大路・渋川エリアにおいては、空き店舗が点在している。
- 特に西友跡地の北西側のブロックには、空き店舗が集まっている。
- 大路・渋川エリア全体の店舗数は 450 軒、そのうち営業店舗数は 414 軒、空き店舗数は 36 軒、空き店舗率は約 8%である。

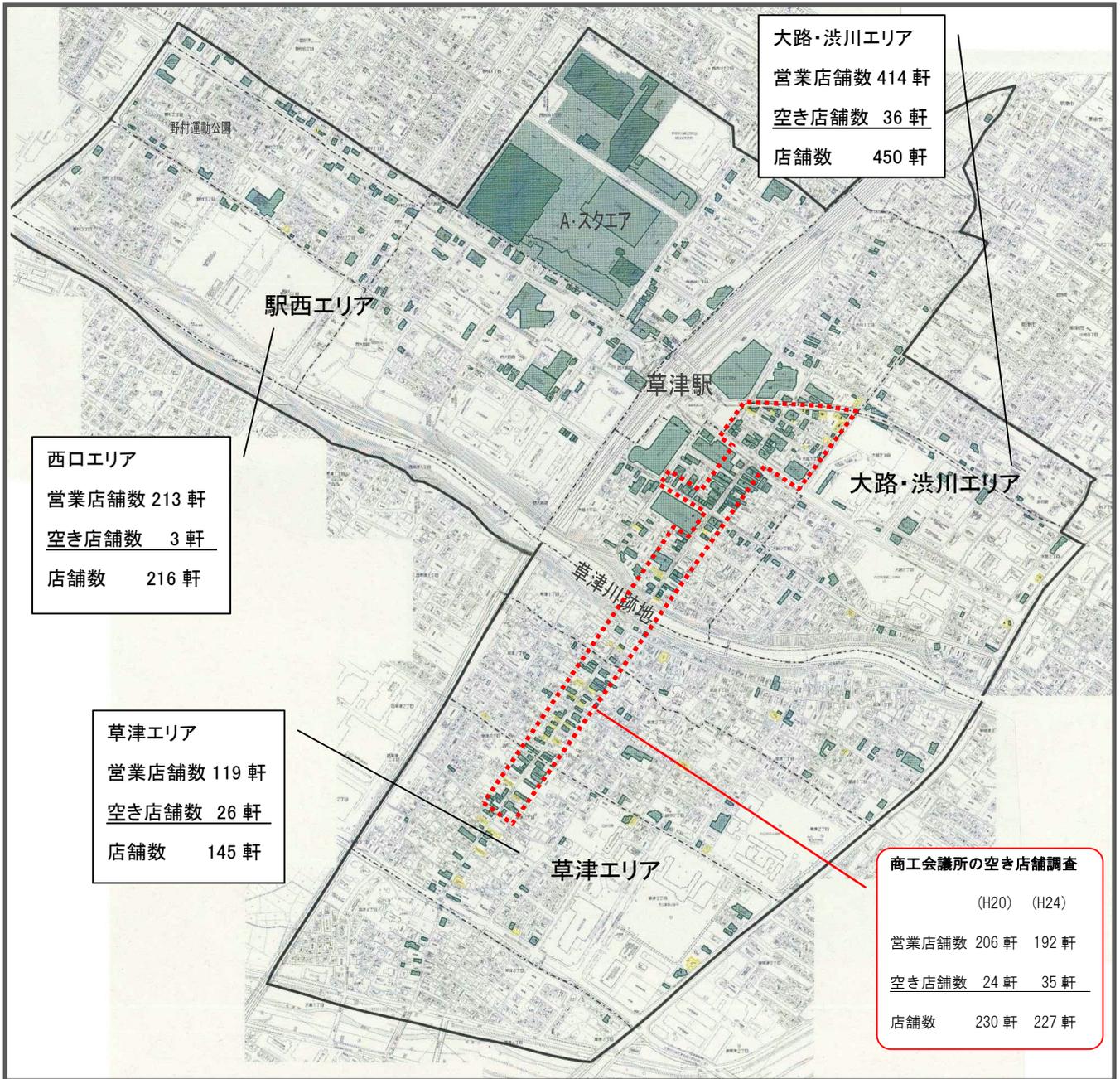
（3）駅西エリア

- 駅西エリアにおいては、空き店舗がほとんどない。しかし、駅から離れたところに 3 軒の空き店舗が点在する。
- 駅西エリア全体の店舗数は 216 軒、そのうち営業店舗数は 213 軒、空き店舗数は 3 軒、空き店舗率は約 1.4%である。

■旧基本計画区域（商工会議所の空き店舗調査）

- 平成 24 年の店舗数は 227 軒、そのうち営業店舗数は 192 軒、空き店舗数は 35 軒、空き店舗率は約 15.4%である。
- 平成 20 年の店舗数は 230 軒、そのうち営業店舗数は 206 軒、空き店舗数は 24 軒、空き店舗率は約 10.4%である。
- ただし、空き店舗調査の対象範囲は、草津駅東側の 20 店舗以上が道路に隣接し、商店街区域を形成している商店街。（本四、本陣、夢大路、北中町、草津一番街）

■空き店舗の調査結果図



※調査店舗数については、テナントビル等で区画割数の変更等により、店舗数が変わるため、あくまで参考値とする。

凡例

- 営業店舗数
- 空き店舗数 (利用可能)
- 空き店舗数 (利用不可能)